

市役所等の地球温暖化防止活動

平成28年度地球温暖化防止活動実践結果
エネルギー等使用量減で
CO2排出量を削減



地球温暖化の影響と思われる海水温の上昇やそれに伴う北極海域の海水面積の縮小化、局地的集中豪雨など世界的異常気象が続いています。国は、平成9年に温室効果ガスの削減を定めた「京都議定書」により「地球温暖化対策の推進に関する法律」を公布しました。これは、社会経済活動等による温室効果ガス排出の抑制等を促進し、

地球温暖化対策の推進を図ることを目的としたものです。このなかで、各地方公共団体の事務や事業に係る温室効果ガス排出抑制計画の策定、実践結果を公表することが義務付けられています。

市役所等の実行計画

本市では「枕崎市等地球温暖化防止活動実行計画」を平成18

●平成28年度CO₂換算温室効果ガスの排出量(対基準年度)
単位: kg-CO₂

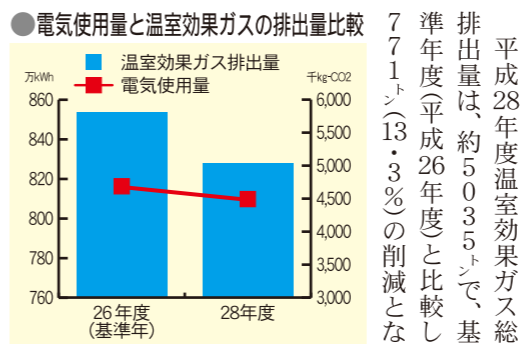
対象	種類	平成26年度(第3次基準年)		平成28年度		対基準年
		排出量	構成比	排出量	構成比	
市役所	CO ₂	3,360,224.9	97.0%	2,944,950.0	96.6%	▲12.4%
	CH ₄	27,203.6	0.8%	27,715.7	0.9%	1.9%
	N ₂ O	76,123.2	2.2%	77,450.3	2.5%	1.7%
	計	3,463,551.7	100.0%	3,050,116.0	100.0%	▲11.9%
衛生管理組合	CO ₂	2,203,896.3	94.1%	1,842,900.1	92.9%	▲16.4%
	CH ₄	11,613.1	0.5%	11,941.3	0.6%	2.8%
	N ₂ O	126,259.4	5.4%	129,829.7	6.5%	2.8%
	計	2,341,768.8	100.0%	1,984,671.1	100.0%	▲15.2%
合計		5,805,320.5		5,034,787.1		▲13.3%

●CO₂(二酸化炭素)…代表的な温室効果ガス。石油、石炭等の化石燃料が主な発生源
●CH₄(メタン)…稲作、家畜の消化管内発酵、廃棄物の埋め立てなどから発生
●N₂O(一酸化二窒素)…燃料の燃焼、工業製品の製造などにより発生

年1月に策定しました。それに基づき、第1次実行計画(平成18年度)と平成22年度及び第2次実行計画(平成23年度)と平成27年度を策定し、温室効果ガス排出抑制等による地球温暖化防止に関する取り組みを行ってきました。

平成28年度は引き続き市の事務及び事業に関し、率先して地球温暖化対策に向けた取り組みを推進するため、第3次の実行計画を策定しました。平成26年度を基準年度とし、計画の期間を平成28年度から平成32年度までの5年間としています。第1次・第2次計画の取り組み実績を踏まえ、最終年度終了時に基準排出量の5%削減を目指すものです。

28年度は13・3%削減



「アラート」から配信される緊急情報が確実に防災行政無線などを通じて、情報が伝達されることを確認するための「緊急情報伝達訓練」が2回にわたって全国で実施されます。

緊急地震速報訓練

- 日時 11月1日(水) 午前10時頃
- 放送文 ①防災行政無線チャイム ②「こちらは、防災枕崎市です。ただいまから訓練放送を行います」 ③緊急地震速報チャイム音

りました。具体的には、平成28年度の電気使用量は基準年度と比較し約0・79%減少し、ガソリンなどの燃料使用量も約2・64%減少しました。このように、電気使用量や燃料使用量を減らすことで、温室効果ガス排出量の削減が図られました。市では、第3次実行計画に従

防災

全国で「アラート」の緊急情報伝達訓練を実施

- ④緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です。(3回)
- ⑤「こちらは防災枕崎市です。これで訓練放送を終わります」
- ⑥防災行政無線チャイム

全国一斉情報伝達訓練

- 日時 11月14日(火) 午前11時頃
- 放送文 ①防災行政無線チャイム ②「これはアラートのテストです」(3回) ③「こちらは防災枕崎市です」 ④防災行政無線チャイム
- 問合せ 総務課危機管理対策係 TEL721111(内線214)

予防接種

未就学児インフルエンザ 予防接種の助成について

平成29年度から、未就学児を対象にインフルエンザ予防接種への助成を次のとおり行います。

接種期間 10月23日(月)～12月31日(日)
対象者 本市市民で、平成23年4月2日から平成29年4月1日までに生まれ、インフルエンザ予防接種を希望する方
※9月1日現在の住民基本台帳をもとに対象者を抽出し、予診票2枚(水色の用

紙1回目・2回目)を郵送します。
助成額 1回1000円(1人2回まで)
個人負担金 接種料金から助成額を差し引いた金額
※接種料金は医療機関ごとに異なります。医療機関にお問い合わせください。

接種場所 本市と契約した医療機関
※医療機関によっては接種できる年齢が異なります

予防接種

65歳以上のインフルエンザ 予防接種を実施

接種期間 10月23日(月)～12月31日(日)
対象者 本市市民で、昭和27年10月24日までに生まれ、予防接種を希望する方。

※インフルエンザ予防接種予診票(水色の用紙)を郵送します。
助成額 1回2000円
個人負担金 接種料金から助成額を差し引いた金額
※接種料金は医療機関ごとに異なります。医療機関にお

問い合わせください。
接種場所 本市と契約した医療機関
注意事項
・インフルエンザ予防接種予診票(水色の用紙)が必要です。
・ワクチンの目的、効果、副反応などを十分理解した上で接種してください。

■問合せ 健康センター TEL727176

薩摩酒造に消防団協力事業所表示証を交付



8月29日、枕崎市消防団協力事業所表示証交付式が消防本部で開催され、薩摩酒造株式会社に「消防団協力事業所表示証」が交付されました。消防団協力事業所表示制度は、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示章のマークをホームページなどで広く公表することができます。同社には消防団員が8名おり、市内事業所ではちばん多いことから今回表示証が交付されることとなりました。

校長・教頭が地場産業について学ぶ



市内小中学校の校長・教頭で構成する「黒潮会」が8月22日、枕崎水産加工業協同組合で講演会を実施しました。講師に枕崎水産加工業協同組合の小湊芳洋参事を迎え、「枕崎フランス鯉節」開業までについての話を聞き、地場産業についての理解を深めました。

「九州北部豪雨災害」義援金へのご協力ありがとうございました

市では「九州北部豪雨災害」で被災された多くの方を支援するため、義援金の募集を行ってきましたが、8月31日で募金箱の設置を終了しました。市民の皆様のご協力ありがとうございました。寄せられた義援金(40,700円)は、日本赤十字社を通じて被災地へ配分されます。